

令和 7 年度

清掃事業概要



札幌市環境局環境事業部

この冊子は再生紙を使用しています。



このロゴは、2027年度までに札幌市が処理するごみ排出量を1人1日当たり100g減量し、政令市で一番ごみの少ないまちを目指すことを表したものです。

はじめに

札幌市では、平成30年3月に一般廃棄物処理基本計画である「新スリムシティさっぽろ計画（以下「新スリム計画」という。）」を策定いたしました。計画期間は平成30年度から令和9年度までの10年間となっております。

新スリム計画の策定時、国連では「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、環境や資源・廃棄物問題についても新たな目標が示されました。この目標は、国や札幌市の一般廃棄物処理基本計画の上位計画である「第2次札幌市環境基本計画」においても同様に位置付けられたところでもあります。

また、今後の社会を見据えると、人口減少と急速に進行している高齢化への対応が課題となっており、次世代により良い環境を引き継ぐためには、世界や国が目指す方向性を踏まえつつ、市民のニーズや生活スタイルなどの変化に対応しながら、ごみの減量・リサイクルの取組を進めていく必要があります。

このような背景から、新スリム計画の方向性を諮問した札幌市廃棄物減量等推進審議会では、改めて3Rの取組推進の重要性を認識し、「3Rの更なる推進」や「超高齢化社会への対応」「事業ごみの減量に向けた取組推進」等の提言がなされたところでもあります。

新スリム計画では、こうした世界や国の動向、審議会の提言を踏まえ、今後もリサイクルの推進は維持しつつ、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のうち、より効果的に天然資源投入量を削減できる2R（リデュース・リユース）を優先し、更なるごみ減量・リサイクルを推進していくことといたしました。

新スリム計画は、令和4年度で計画の中間年度を迎えたことから、計画前半期の取組の評価や見直しを行う中間点検を行い、その結果を「新スリムシティさっぽろ計画中間点報告書」にまとめました。中間点検では、札幌市のごみの現状分析による減量余地のあるごみ種・ごみ量の把握や前半期に実施した新スリム計画で掲げた施策に基づく各事業の新スリム計画の目標への貢献度並びに事業の効果や課題など自己評価を行ったほか、有識者による懇話会や市民参加型のワークショップを開催し、札幌市の取組に対して様々なご意見もいただきました。

新スリム計画の基本目標に掲げた「ごみのいちばん少ないまち」の実現に向け、ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる中、新スリム計画の5つの減量目標の達成にはまだまだ厳しい状況ではありますが、中間点検の結果を踏まえて、新スリム計画の後半期も全力で取組を進めていく所存です。

本書は、清掃事業の概要及び諸統計を収録したものであり、参考資料としてご利用いただければ幸いです。

凡例

数値の単位未満、平均値及び指数などの算出方法は四捨五入を原則としたため、合計数値とその内訳の計とが一致しない場合がある。

目次

I	総説	1	(2) 収集方法等	30
1	札幌市のあらまし	1	(3) 札幌市要介護者等ごみ排出支援事業（さわやか収集）	31
(1)	地勢	1	(4) 家庭ごみ収集方法等に関する検討	32
(2)	市勢	1	(5) 処理処分計画	32
2	清掃事業の沿革	1	(6) 試験調査実施計画	33
3	一般廃棄物処理基本計画	3	(7) 自己搬入	34
(1)	スリムシティさっぽろ計画の策定	3	3 し尿処理	35
(2)	スリムシティさっぽろ計画（改定版）の策定	3	(1) し尿収集計画	35
(3)	新スリムシティさっぽろ計画の策定	3	(2) し尿収集方法	35
(4)	新スリムシティさっぽろ計画の中間点検の実施	4	(3) 浄化槽	35
(5)	新スリムシティさっぽろ計画の体系図	9	(4) 処理計画	35
II	清掃事業の規模	11	4 事業系廃棄物	36
1	機構・事務分掌・人員配置	11	(1) 監視指導体制	36
(1)	機構及び事務分掌	11	(2) 事業系一般廃棄物の減量施策及び処理状況	36
(2)	職別人員配置	11	(3) 浄化槽	39
2	施設配置図	14	(4) 自動車リサイクル法	39
3	施設の現況	15	(5) 産業廃棄物の指導計画及び処理状況	39
(1)	清掃事務所及び処理場管理事務所	15	(6) 特別管理産業廃棄物の適正処理	41
(2)	し尿の下水道投入施設	15	(7) 不法投棄や野外焼却などの不適正処理対策	42
(3)	ごみの中間処理施設	16	5 車両整備	43
(4)	普及啓発施設等	17	(1) 清掃車両整備計画	43
(5)	ごみの埋立処分場	17	(2) 整備作業体制	43
(6)	その他の施設	18	6 施設整備	44
4	車両の現況	19	(1) 清掃工場等建設・整備	44
5	関係出資団体	19	(2) ごみ埋立処分場造成・整備	44
6	リサイクル団地	20	7 令和7年度清掃事業関係予算	45
(1)	団地の位置及び面積	21	(1) 歳入歳出額	45
(2)	施設の配置状況	21	(2) 歳入歳出予算額の推移	47
(3)	配置図	21	IV 令和6年度清掃事業実績	48
7	エコタウン事業によるリサイクル施設の整備	22	1 普及活動	48
III	令和7年度清掃事業	23	(1) 行事実績	48
1	普及啓発	23	(2) 集団資源回収奨励金支給実績	49
(1)	ごみ減量運動の推進	23	(3) リサイクルプラザ事業実績	50
(2)	清掃に関する市民意識の高揚	24	(4) リユースプラザ事業実績	50
(3)	札幌市リサイクルプラザ・札幌市リユースプラザ	26	(5) びん・缶・ペットボトルの選別後の量の推移	50
(4)	ごみステーションの浄化推進	27	(6) 缶の売却額の推移	50
(5)	ごみステーションに関する規程の見直し	27	(7) 容器包装プラスチックの選別後の量の推移	50
(6)	ごみステーションの管理支援	27	(8) リサイクル推進基金年度別推移	51
2	ごみ処理	30	(9) 雑がみの選別後の量の推移	51
(1)	収集計画	30	(10) 雑がみの売却額の推移	51
			(11) ごみステーション浄化に関する普及・指	

導状況	51	(3) 工場ピットごみ組成	88
(12) 出前講座「さっぽろクリーンミーティング」の開催件数	52	(4) ダイオキシン類測定結果	89
(13) 苦情の処理件数	52	2 処理場処理実績	90
(14) 要望の処理件数	52	(1) 埋立状況	90
(15) 清掃に関する問い合わせ件数	53	(2) 排水処理運転年報	91
2 ごみ処理関係	54	3 し尿処理実績	92
(1) ごみ量	54	(1) 札幌市クリーンセンター運転年報	92
(2) 処理実績	58	(2) 札幌市クリーンセンターし尿受入実績	93
3 し尿処理関係	60	VII 参考資料	94
(1) 処理量の推移	60	1 関係条例・規則	94
(2) 処理量の内訳	61	(1) 札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例	94
4 清掃車両整備実績	61	(2) 札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例施行規則	102
5 清掃車両稼働実績	62	(3) 令和7年度一般廃棄物処理実施計画	108
6 令和6年度清掃事業関係決算	64	(4) 札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例第39条第2項の規定に基づき市が処分する産業廃棄物の種類及び量	115
(1) 歳入歳出額	64	(5) 札幌市浄化槽保守点検業者の登録等に関する条例	116
(2) 歳入歳出決算額の推移	66	(6) 札幌市浄化槽に関する規則	118
(3) 手数料収入	67	(7) 札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱防止等に関する条例	120
(4) ごみ処理に係る行政コストの経年比較	67	(8) 札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱の防止等に関する条例施行規則	121
(5) ごみ種別の1トンあたりの処理原価(令和6年度決算見込み)	68	2 関係要綱	
7 ごみの組成	69	(1) 札幌市ごみステーションの設置及び清潔保持等に関する要綱	122
(1) 家庭ごみ	69	(2) 札幌市家庭廃棄物の排出日時等厳守指導要綱	126
(2) ピットごみ(清掃工場に搬入されたもの)	71	(3) 札幌市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱	127
V 勤務時間等の現況	73	(4) 札幌市合併処理浄化槽維持管理費補助金交付要綱	129
1 勤務時間・職員定数等	73	(5) 札幌市自己搬入ごみ取扱要綱	131
(1) 勤務時間	73	3 資源ごみ選別処理フロー	132
(2) 課所別・職種別人員配置(定数)	74	4 家庭ごみ処理手数料約33億円の使いみち(令和6年度決算)	135
2 被服の貸与等	76	5 手数料の改定経過表	135
(1) 被服の貸与状況	76	6 札幌市清掃事業年表	136
(2) 消耗品の支給状況	76		
3 労務管理	79		
(1) 研修制度	79		
(2) 表彰制度	79		
(3) 自動車事故防止対策	80		
4 安全衛生対策	80		
(1) 安全衛生管理体制	80		
(2) 環境事業部安全衛生委員会	80		
(3) 環境事業部事業所安全衛生推進委員会	81		
5 公務災害防止対策	82		
(1) 職員の安全衛生意識の高揚	82		
(2) 災害の原因究明と指導	82		
(3) 安全衛生教育	82		
(4) 被服・保護具及び作業方法等の改善	82		
(5) 健康管理	82		
VI 処理施設の実績	84		
1 清掃工場等処理実績	84		
(1) 運転年報	84		
・ 発寒清掃工場	84		
・ 駒岡清掃工場	85		
・ 白石清掃工場	86		
(2) 残さ搬出実績	87		